

浦安アートプロジェクト「浦安藝大」



浦安アートプロジェクト「浦安藝大」は、浦安市と東京藝術大学が連携し、市民とともにアートによって新たな価値の創出やまちの魅力の向上、地域や社会の課題解決のきっかけづくりをしていくプロジェクトです。

より暮らしやすいまちを創るために「アート」の力を活用し、市民とアーティスト、行政が共に浦安市の課題について考え、楽しみ、学び合う場として、ワークショップや展示などを実施しています。

今回は、「浦安藝大」の取り組みを皆さんに知っていただくために、令和6年度に実施した各プログラムの活動をご紹介します。詳しくは、浦安藝大ウェブサイトをご覧ください。 → <https://urayasu.geidai.ac.jp/>

<プログラム1>「拡張するファッション演習」

アーティスト：西尾美也（東京藝術大学准教授）

ファッションは赤ちゃんからお年寄りまで、どんな人の生活とも結びつく身近な存在です。そんなファッションが、地域の課題解決に対してどのようなアプローチができるのか実践する試みです。

令和6年度は、まちなかに公共のワードローブを作ったり、シルバーカーを装飾したり、綿花の育成を考えたりしながら、浦安市の社会的孤立の防止に向けた試みを行っています。



<プログラム2>「Value of Waste」

建築家：樫村英実（東京藝術大学准教授）

建築家・樫村英実氏、建築家・蓮溪芳仁氏、東京藝術大学建築科・樫村研究室がチームとなって取り組むプログラムです。

建築家として、浦安市の環境や構造物、人々の行動などを分析することで、地図情報だけでは得られない情報を見出し、新たな視点を探ります。

令和6年度は「ゴミの減量化」と「第一埋立護岸の利活用」の課題を内包したプログラムとして、みんなの散歩道をつくるワークショップを行っています。

<プログラム3>「護岸アーカイブプロジェクト ー埋立地の記憶を保存するー」

アーティスト：佐藤桃子、横山渚

過去の埋め立て事業の際にできた今川地区から入船地区に続く第一期埋立護岸は、今ではその役割を終え、浦安市の歴史を語るものとして残っています。

ワークショップでは、護岸の役割や背景を知ることから始まり、護岸をまちの記憶として記録する作業をすることで、自分たちが住む浦安を知り、改めて自分たちのまちについて考えました。



<プログラム4>「イス to ベンチプロジェクト」

アーティスト：佐藤桃子、横山渚

ワークショップでは、椅子を作り、それらを繋ぎ合わせるなどをして、各々の居心地の良い場所を探してみました。「自分」という点を可視化する装置としてのイスを通して他者と自分の距離を認識し、そういった体験を通して「居場所」と「つながり」について共に考えました。



【郷土博物館】あっさり君チャレンジ

皆さんはどれくらい『ふるさと浦安』のことを知っていますか？

今年度9月から新たなイベント「あっさり君チャレンジ」が始まりました。

「あっさり君チャレンジ」は毎月2回開催されるイベントで、小学生以上の方に向けた挑戦課題をクリアするイベントとなっています。お手玉・けん玉・コマなどの昔の遊びの技や、工作、展示している物の説明などふるさと浦安に縁が深い計8つのことがらにチャレンジします。すべてクリアすると各級の名人に認定され、認定証と記念品が授与されます。小中学生ボランティア（ジュニア学芸員）がやさしく教えたり、検定したりするので、まだ挑戦したことのない人は、ぜひ博物館にお越しください。



▲クリアすると認定証と記念品がもらえます。

《あっさり君チャレンジ 一覧》

	初 級	中 級	上 級
漁 業	浦安の海でとれた貝を5種類言うことができる。	水槽の中の魚について説明できる。	展示物を使って、腰マキ漁と大マキ漁の説明ができる。
漁 船	べか舟を掃除する道具の名前を3つ言うことができる。	べか舟と投網船がどんな船か説明できる。	貝の正しい持ち方、動かし方ができる。（船の展示室のべか舟で）
昔遊び（お手玉）	2つのお手玉を交互に投げ上げ、落とさずに10回続けることができる。	2つのお手玉を交互に投げ上げ、落とさずに20回続けることができる。	3つのお手玉を順番に投げ上げ、落とさずに8回続けることができる。
昔遊び（木コマ）	ひもを巻き、コマを回すことができる。	床の中でコマを回すことができる。	外投げ、内投げで、床の中で、コマを回すことができる。
昔遊び（けん玉）	10回中、1回大皿に乗せることができる。	10回中、1回小皿・中皿に乗せることができる。	10回中1回ろうそく・とめけんができる。
もの作り	紙コプターを作り、飛ばすことができる。	紙デッポウを作り、鳴らすことができる。	ぶんぶんゴマを作り、回すことができる。
昔のくらし	ほうきと雑巾を正しく使い、魚屋を掃除することができる。	浴衣をきちんとたたむことができる。	浴衣を自分で着ることができる。
文化財住宅	敷居について説明できる。	屋外展示場文化財住宅について説明できる。	たばこ屋と漁師の家について詳しく説明できる。

☆ジュニア学芸員や博物館スタッフが説明をし、やり方・作り方を教えてくれます。また、昔遊びは、コツを教わり、練習してからチャレンジすることができます。

☆「説明をする」では、内容を書いた資料が渡されるので、その場で覚えてからチャレンジできます。

ジュニア学芸員が助けてくれます！！☺



・初級、中級は小学校1～3年生、上級は中級を合格した児童と小学校4年生以上が挑戦できます。

・今年度の開催は、2月11日（祝）・24日（振休）・3月1日（土）・26日（水）計4日間、午前の部10時～11時半、午後の部1時半～3時の間に所要時間1時間程度で行います。

・参加費はかかりません。チャレンジカードは、1年間有効で継続使用ができます。

・令和7年度の日程は、決まり次第お知らせします。

・上級に合格するとジュニア学芸員養成講座C講習が免除となる特典があります。



ジュニア学芸員とは

市内在住の小学校4年生から中学校3年生までの希望する児童生徒が年2回開催している養成講座（A・B・C講習）を受講完了することで認定されるボランティア制度。現在4期目通算99名の認定者が在籍。認定者は、ジュニア学芸員として館内イベントの運営補助に参加したり、スペシャルジュニア学芸員講座（べか舟操船やお洒落踊りなど）を受講したりすることができます。

HPに紹介ページがあるよ！

<https://assarikunn.wixsite.com/website>

